

# ふれあいⅡ

学校教育目標  
「やさしく かしく たくましく  
自分のよさを生かして  
未来を創ろうとするしゃちっ子」  
の育成

令和7年9月26日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする  
アップデートしよう（未来を創るのは子どもたち）

## 秋の気配が 一雨一度…



お彼岸を迎え、ずいぶん朝晩は涼しくなったように感じます。雲も分厚い入道雲から、薄いうろこ雲へと変わっているようです。また、田んぼのあぜ道には彼岸花のつぼみや花が見られます。秋の足音が聞こえてきています。とはいえ、日中の日向の暑さは、まだまだ夏本番のようで、昼休みに遊んでいる



子たちも汗びっしょりで教室へ帰って行きます。もうしばらく、熱中症に気をつけないといけません。休憩や水分補給を勧めています。ご家庭でも準備をお願いします。また、全国的にも感染症が流行しているようです。軽い症状の場合もあれば重い症状の場合もあるので、感染症予防の取り組みをお願いします。

教育実習も最終日を迎えました。実習生は、それぞれの学級で工夫を凝らした授業を行い、この期間で教員としてのたくさんの学びを得たことでしょう。最終日はそれぞれの教室でお別れをしていました。涙が見られるのも、お互いにたくさん触れ合ってきた証です。この経験はこれからの人生にも役に立ちます。そんな経験を提供してくれた子どもたちに大きく感謝したことでしょう。子どもたちを愛してやまない教師になってほしいものです。

## バルーン体験 おっかなびっくり…



12日金曜日、4年生の子どもたちを対象にバルーン体験がありました。怪しい空模様でしたが、何とか実施することができました。佐賀市の観光振興課の事業で、市内の小學生に「空飛ぶ感動を」また「バルーンのまち」の意識醸成を目的として、市内の全小学校を対象とした係留体験搭乗“空飛ぶ体験あたりまえ化計画”として実施されました。本校では冬におやじの会の主催



で6年生がバルーン体験をしています。今回は佐賀市の取り組みに参加できましたので、大変うれしく思いました。係留ですので10mぐらいまで上がります。上がっていく子どもたちは、にこにことうれしそうな表情をしていたり、こわごわとした表情をしていたり様々でしたが、よい体験になりました。

## 自分を大切に 友だちを大切に…



22日月曜日に高学年を対象とした、性に関する講話をしていただきました。NPO法人DV対策・予防センター九州理事長の原健一様を講師としてお招きし、佐賀大学の講堂で1時間程度のお話をいただきました。友だちとの楽しい関係の作り方というテーマでした。高学年が思春期の入り口であること、体操服で隠された体の部分は「見ない、触らない、触らせない」などの話とともに、LGBTQや思春期の心と体の特徴、コミュニケーションについてなど、具体的な事例を紹介しながら、お話いただきました。この講話をきっかけに、さらに教室で学んだり話し合ったりしながら、性について考えてほしいと思います。

